

2025年3月28日
大崎電気工業株式会社

【大崎電気】温室効果ガス排出量削減目標で SBT^{※1} 認定を取得

大崎電気工業株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:渡辺光康、以下「大崎電気」)は、大崎電気グループが掲げる温室効果ガス排出削減目標が、認定機関である SBTi(Science Based Targets initiative)^{※2} による認定を取得しましたのでお知らせします。



記

I. 認定の背景

大崎電気グループは、主力製品であるスマートメーターをはじめとした製品・ソリューションを提供することで、社会における温室効果ガスの排出削減に取り組むとともに、自社の事業活動を通じた排出削減を進めてきました。

このたび認定を取得した目標では、自社の排出量(Scope1 および2)^{※3} について以前より高い削減目標を設定するとともに、新たに Scope3 の削減目標を策定することで、サプライチェーン全体における排出量削減を加速させます。

これらの目標が、パリ協定が求める「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保つとともに、1.5℃未満に抑える」ための科学的な根拠に基づいていることが認定されました。

II. 認定を取得した温室効果ガス排出削減目標 (2030年度目標)

- ① Scope1 および 2 の排出量の総量を 2023 年度と比較して 42%削減
- ② Scope3 の排出量の総量のうち、「購入した製品・サービス」、「販売した製品の使用」による排出量を 2023 年度と比較して 25%削減

Ⅲ. 今後の取り組み

本目標の達成に向けて、グループ内の活動はもとより、サプライチェーンを構成するサプライヤーのみなさまと連携した取り組みを推進します。

また、今後もエネルギー管理システムを核とした「CO₂排出量の見える化」「CO₂削減計画の立案支援」「CO₂削減計画の実行支援」などの製品・サービスの拡販を通じて、お客様の温室効果ガス排出量の見える化と削減に貢献いたします。

※1 SBT(science-based targets):

パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標。

※2 SBTi (Science Based Targets initiative):

CDP、国連グローバル・コンパクト(UNGC)、世界資源研究所(WRI)、世界自然保護基金(WWF)の4機関が協働で運営するイニシアチブ。

※3 Scope 1: 事業者自らによる直接排出

Scope 2: 他社から供給された電気などの使用に伴う間接排出

Scope 3: スコープ 2 以外のすべての間接排出

●SBT について(英語)

<https://sciencebasedtargets.org/>

●大崎電気グループのサステナビリティへの取り組み

<https://www.osaki.co.jp/ja/sustainability.html>

Ⅳ. 当社概要

会社名	大崎電気工業株式会社
本社所在地	東京都品川区東五反田二丁目 10 番 2 号
代表者	取締役会長 CEO 渡辺佳英、取締役社長 COO 渡辺光康
設立	1937 年 1 月
資本金	7,965 百万円
事業内容	電力量計、配電盤・分電盤、監視制御装置、検針システム、スマートロック関連製品・システムの開発・製造・販売
上場市場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード 6644)
売上高(連結)	95,147 百万円 (2024 年 3 月期)
従業員数(連結)	2,603 名(2024 年 3 月 31 日現在。正社員数)
事業所	本社、埼玉事業所
関係会社	国内 8 社 海外 16 社
ウェブサイト URL	https://www.osaki.co.jp

<本件に関するお問い合わせ先>

- 報道関係のみなさまからのお問い合わせ
大崎電気工業株式会社 IR 広報部
TEL 03-6694-7140
E-mail pr.all@osaki.co.jp

以 上